

2024年度 決算説明資料

2025年5月20日

株式会社 **モリタホールディングス**

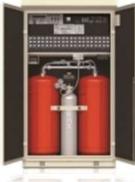
(証券コード : 6455)

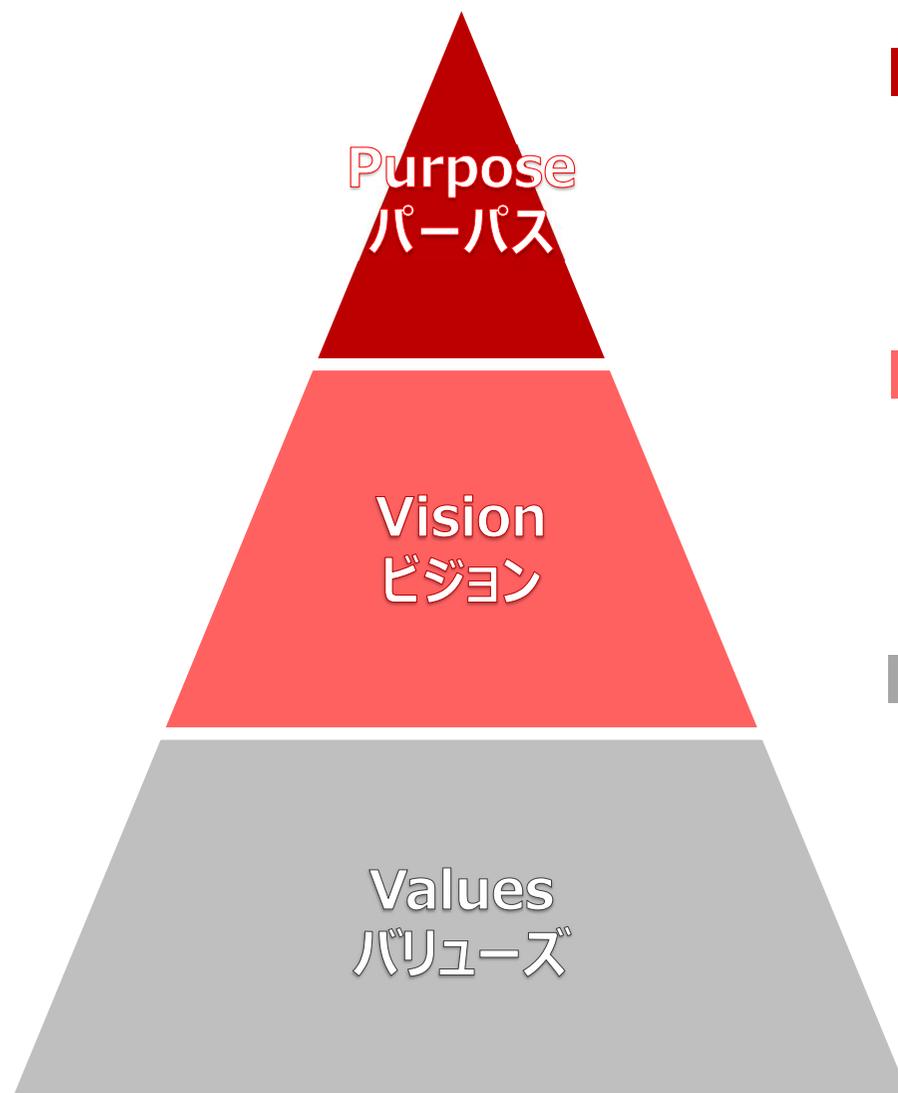
I. 会社概要

- 社 名 : 株式会社モリタホールディングス
(英文名称 : MORITA HOLDINGS CORPORATION)
- 創 業 : 1907 (明治40) 年4月23日
- 設 立 : 1932 (昭和07) 年7月23日
- 代 表 者 : 代表取締役会長兼CEO 中島 正博
代表取締役 社長執行役員 金岡 真一
- 資 本 金 : 47億4,612万円
- 連 結 売 上 高 : 1,117億円 [2025年3月期]
- 連 結 従 業 員 数 : 1,748名 [2025年3月31日現在]
- 連 結 子 会 社 : 13社
- 持 分 法 適 用 会 社 : 2社
- その他グループ会社 : 5社

事業概要



セグメント	消防車両事業	防災事業	産業機械事業	環境車両事業
営業品目	 	 	 	 
	消防車両 消防車両メンテナンス	消火器 消火設備	産業廃棄物処理機 リサイクルプラント 各種ごみ処理施設	衛生車 塵芥車 環境保全車両
主要事業会社	モリタ モリタテクノス Bronto Skylift	モリタ宮田工業	モリタ環境テック	モリタエコノス
売上高	664億円 (59%)	266億円 (24%)	64億円 (6%)	123億円 (11%)
営業利益	68.3億円 (50%)	50.1億円 (37%)	8.5億円 (6%)	10.3億円 (7%)



- パーパス（社会における存在理由）
「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で
人と地球のいのちを守る
- ビジョン（実現したい社会とありたい姿）
安全で住みよい豊かな社会へ貢献し
感謝され、愛される企業
- バリューズ（大切にすべき価値観）
お客様と社会からの信頼
真摯な企業経営
挑戦と成長
飽くなき革新力
多様性の尊重
自然、社会との共生

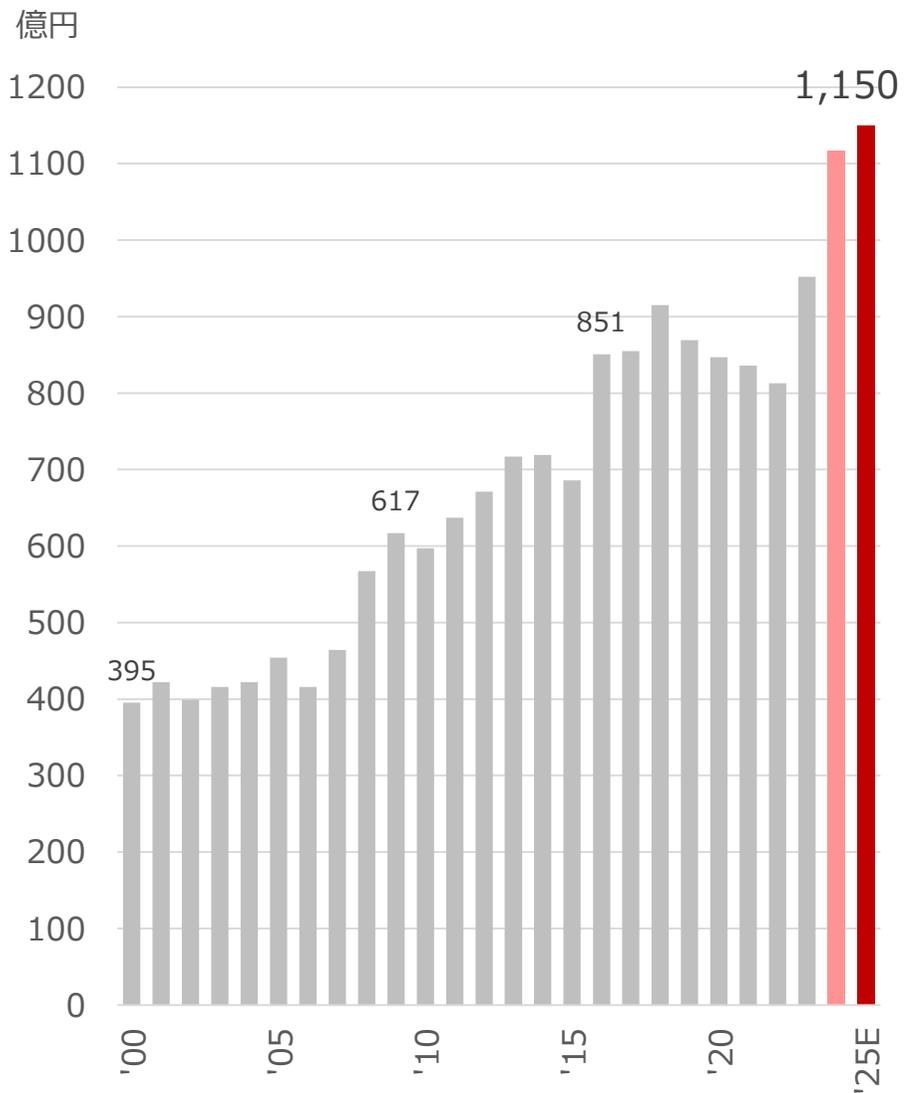
分類	マテリアリティ	関連するSDGs
事業活動に関するマテリアリティ	① 気候変動問題への取組み	13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	② 循環型社会への貢献	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう
	③ 安全で安心な社会への貢献	3 すべての人に健康と福祉を 6 安全な水とトイレを世界中に 11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
	④ 絶えざる技術革新による環境価値の創出	8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 13 気候変動に具体的な対策を
	⑤ 製品の品質と安全性の追求	3 すべての人に健康と福祉を 8 働きがいも経済成長も
事業基盤に関するマテリアリティ	⑥ 実効性のあるコーポレートガバナンスの実践	5 ジェンダー平等を実現しよう 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に
	⑦ 革新力を持った人財の育成	5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

Ⅱ. 基本戦略

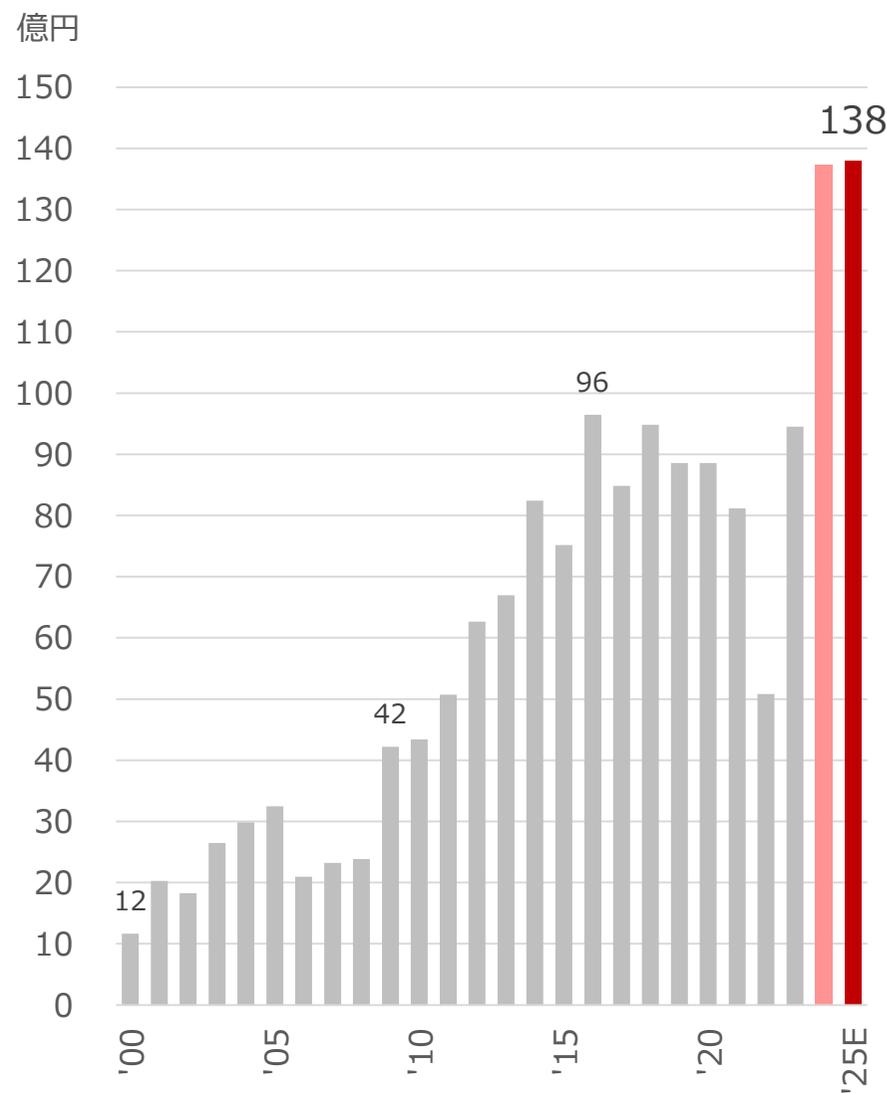
業績推移



売上高



営業利益

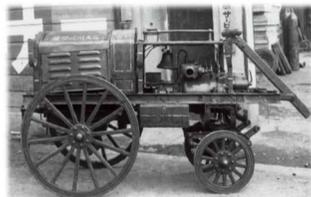


事業展開の変遷



森田正作
が創業

1907



環境車両事業
へ進出

1948



産業機械事業
へ進出

1994



Bronto Skylift
を買収

2016



1910

日本初のガソリン・エンジン
付き消防ポンプを完成



1960

防災事業
へ進出



2008

宮田工業
を買収



2022

東京証券取引所
プライム市場へ移行



マーケットシェア (2000-2024)



消防車輛
(消防車)

62%*



防災
(消火器)

34%*



産業機械
(切断機)

67%*



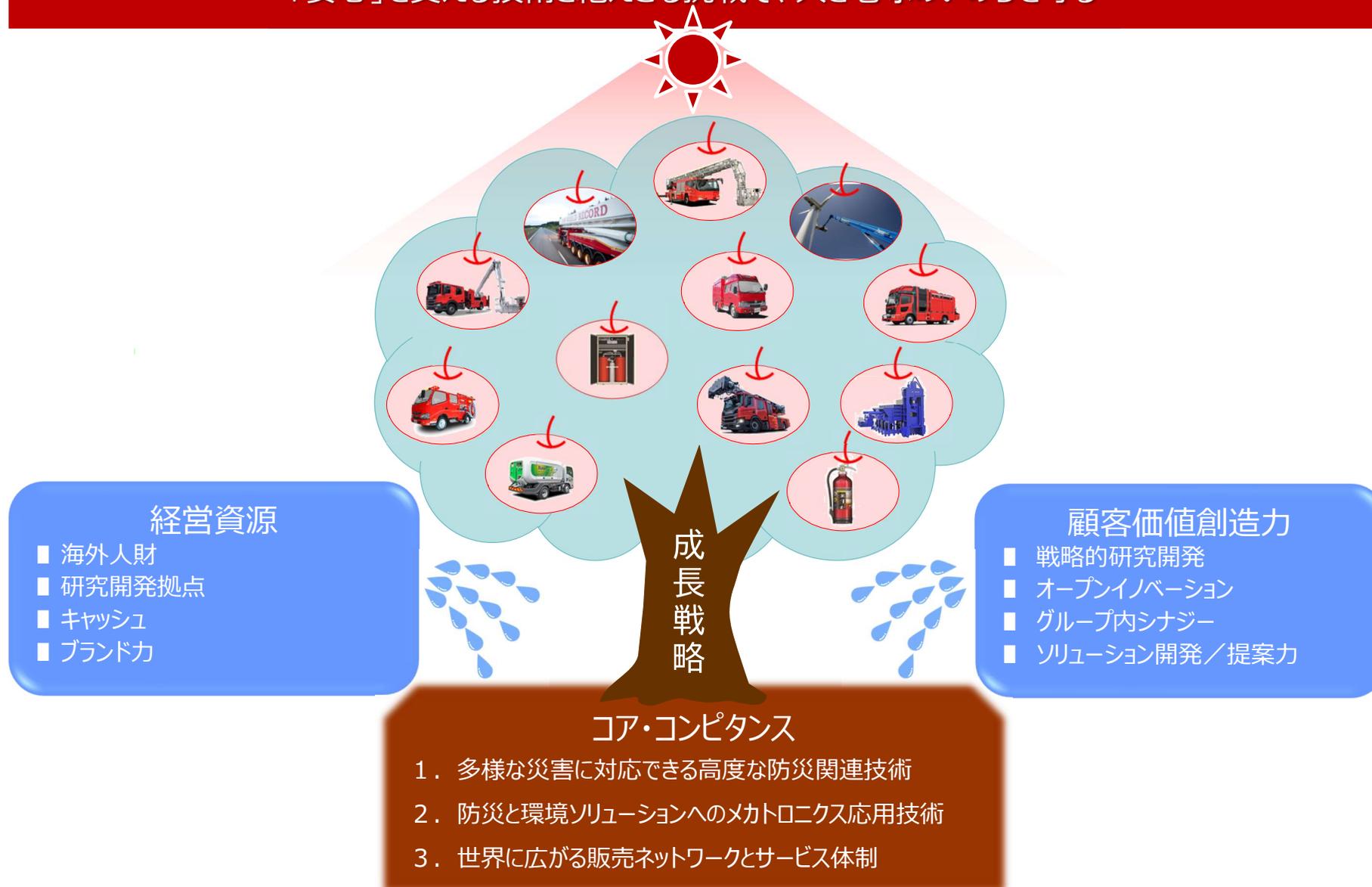
環境車輛
(衛生車)

83%*



※ 自社調べ

「安心」を支える技術と絶えざる挑戦で、人と地球のいのちを守る



モリタATIセンター

Morita Advanced Technology Innovation Center



燃焼試験室

模擬居室

ダイバーシティスタジオ



大型恒温槽

放水訓練の様子

モビリティ研究室

大阪市との連携協定

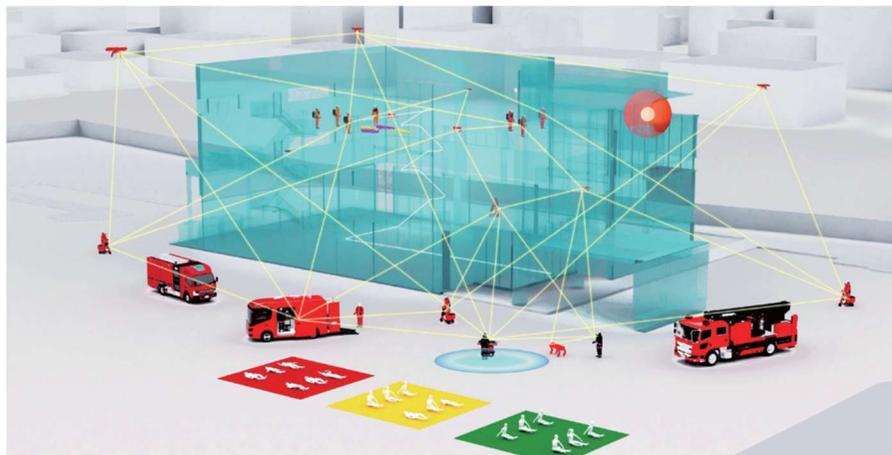


未来社会における最適な消防活動の実現



提供: 2025年日本国際博覧会協会

現場指揮支援システム



現場情報をリアルタイムで集約、整理、可視化し、
AI 判断支援で指揮活動をサポート

火災現場のリアルタイム情報を集約し、高度な情報処理を通して各デバイスに必要情報を出力し消防指揮活動を支援するシステム

隊員の安全管理・救急トリアージ管理・要救助者管理・車両管理・AI判断支援、建物データなどの連携により、未来社会における最適な消防活動を提案

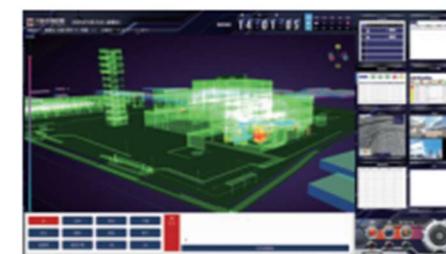
本システムをEV指揮車に搭載、車内での操作に加えて、大型タッチモニターを備えた移動式の指揮卓でも表示・操作することで現場の指揮活動を支援



EV指揮車



電子指揮卓



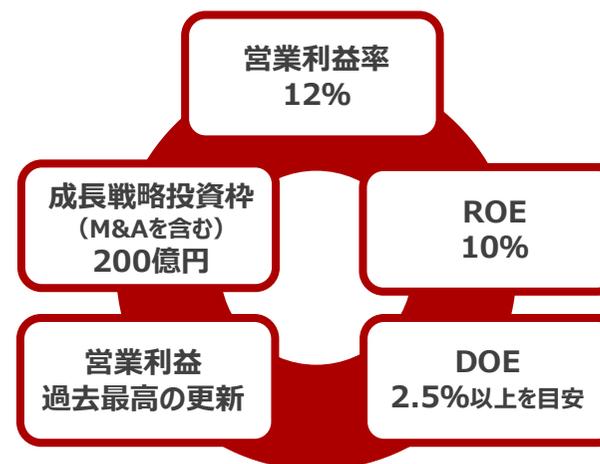
表示画面

グローバルな総合防災ソリューション企業へ

基本方針

- 1 既存事業の収益力強化
- 2 海外事業・新規事業の育成、拡大
- 3 基礎研究力・新商品開発力の強化
- 4 革新力を持った人財の育成
- 5 CSR活動の推進

経営数値目標（2025年度）



Morita Reborn 2025 (2019 – 2025)

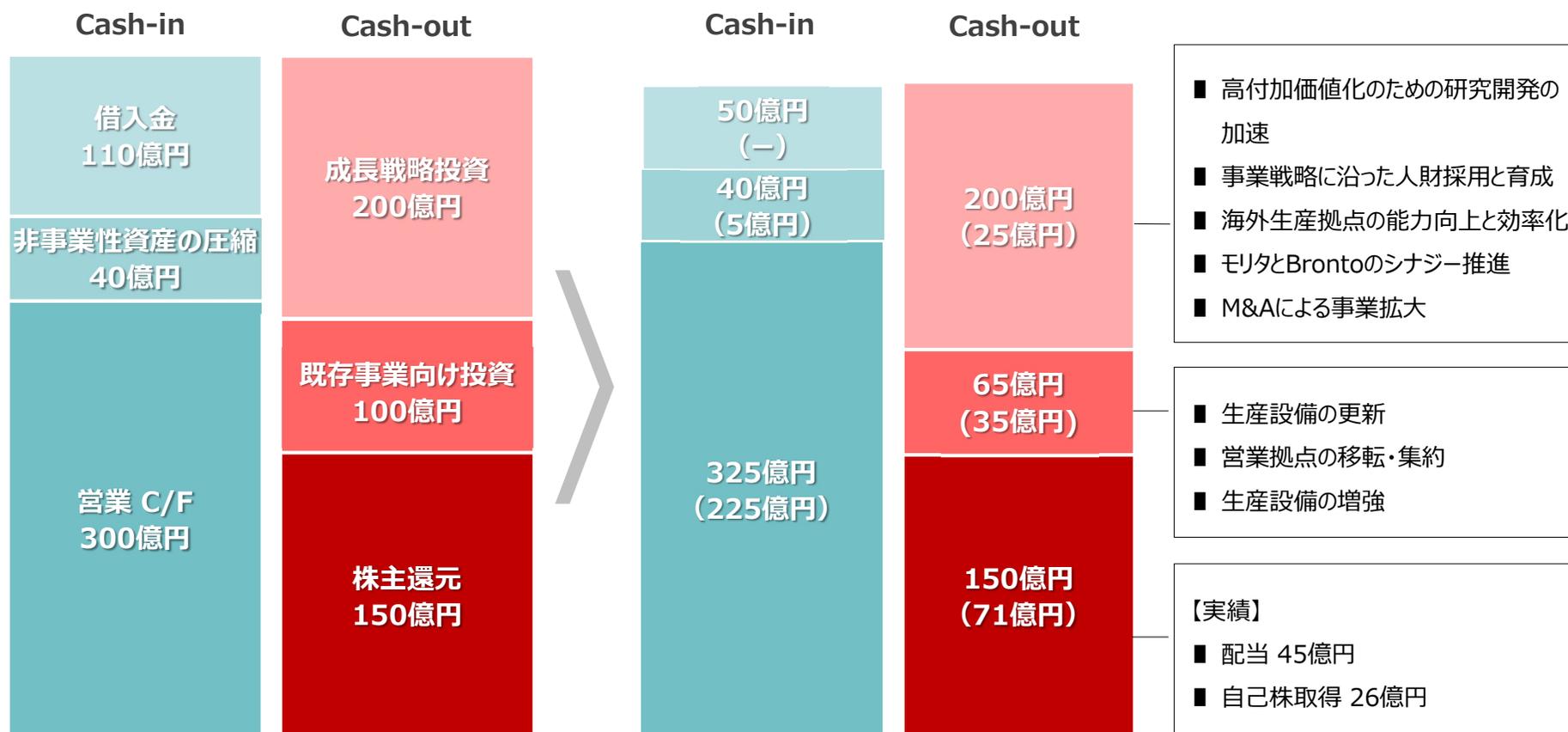
キャッシュアロケーション



FY23-25 キャッシュアロケーション

2024年4月公表

2025年5月時点見込み
(括弧内はFY23-24実績)



Ⅲ. 2024年度 決算概要

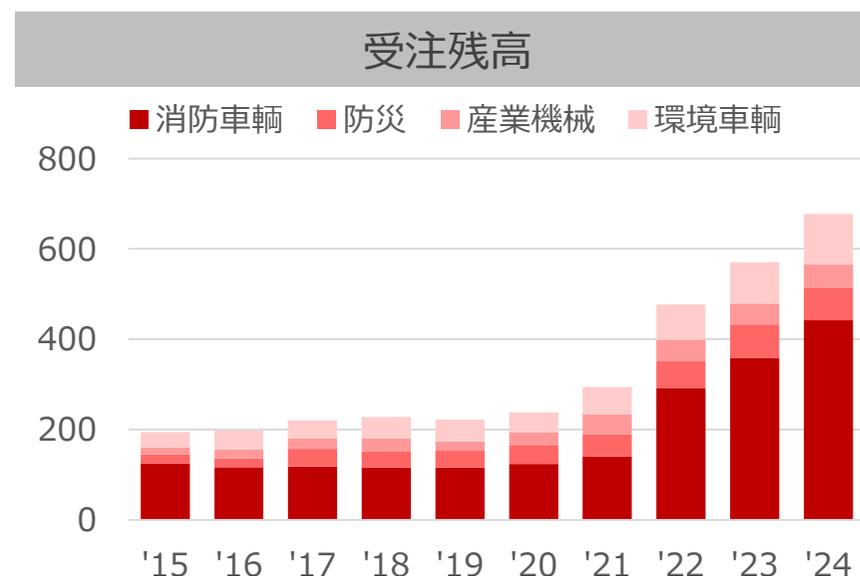
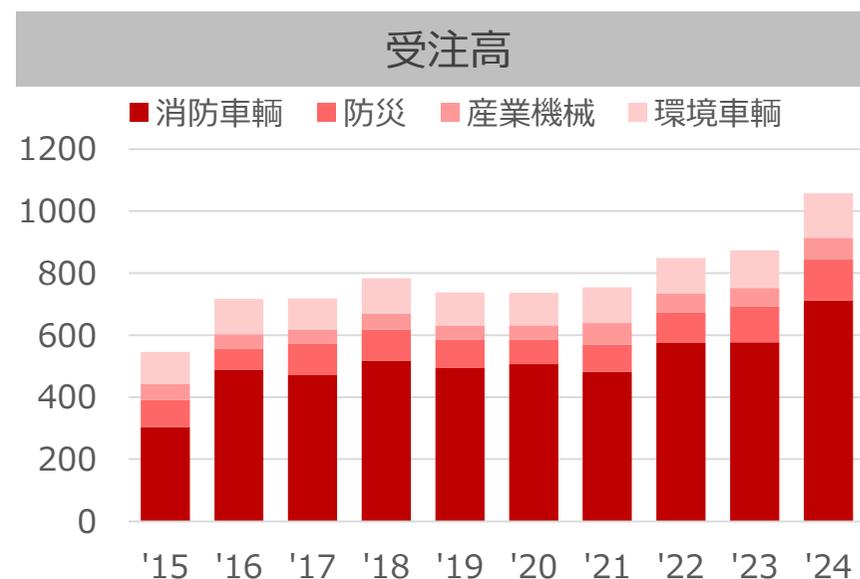
受注状況



(億円)

受注高	2022 実績	2023 実績	2024 実績	前期比
消防車輛	575	577	712	+134
防災	97	116	132	+16
産業機械	62	59	70	+10
環境車輛	115	122	143	+21
連結	849	874	1,056	+181

受注残高	2022 実績	2023 実績	2024 実績	前期比
消防車輛	291	359	442	+83
防災	60	74	72	-2
産業機械	48	46	52	+6
環境車輛	78	91	111	+19
連結	477	570	677	+107



損益計算書



(億円)

	2023 実績	2024 予想	2024 実績	前期比	予想比
売上高	952	1,100	1,117	+165	+17
消防車両	544	650	664	+120	+14
防災	238	270	266	+28	-4
産業機械	62	62	64	+2	+2
環境車両	109	118	123	+15	+5
営業利益	95	120	137	+43	+17
消防車両	47	60	68	+21	+8
防災	33	44	50	+17	+6
産業機械	7	7	9	+1	+1
環境車両	7	9	10	+3	+1
経常利益	96	125	137	+41	+12
当期純利益	60	84	95	+35	+11

前期比コメント

- ✓ 売上高、営業利益ともに過去最高を更新。
- ✓ 消防車両事業は、前期にシャシ供給遅延で苦戦した海外のBrontoが復調し、国内売上も順調に推移したことから、国内外ともに売上が伸長。
- ✓ 防災事業は、消火設備の大型案件の売上計上が進み、過去最高を更新。
- ✓ 産業機械事業は、サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルの流れに乗り堅調。
- ✓ 環境車両事業は、高水準な受注残高を背景に増収増益。
- ✓ 営業利益は、人件費や試験研究費等の増加をこなし、過去最高。

貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書



連結貸借対照表

(億円)

	2023 実績	2024 実績	前期比
現預金	264	299	+35
売上債権	291	315	+23
棚卸資産	246	246	+1
有形固定資産	354	349	-5
無形固定資産	22	18	-4
その他	220	207	-13
資産合計	1,397	1,434	+37
仕入債務	209	205	-4
その他	272	251	-20
負債合計	481	457	-25
自己資本	905	965	+60
非支配株主持分	11	12	+1
純資産合計	916	977	+61
負債純資産合計	1,397	1,434	+37
ROE	6.9%	10.1%	+3.2 pt

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2023 実績	2024 実績	前期比
営業CF	112	114	+2
投資CF	-35	-15	+20
財務CF	-15	-60	-45
フリーCF	77	99	+22

IV. 2025年度 見通し

業績予想



(億円)

	2023 実績	2024 実績	2025 予想	前期比
売上高	952	1,117	1,150	+33
消防車輛	544	664	710	+46
防災	238	266	245	-21
産業機械	62	64	65	+1
環境車輛	109	123	130	+7
営業利益	95	137	138	+1
消防車輛	47	68	82	+14
防災	33	50	38	-13
産業機械	7	9	8	-1
環境車輛	7	10	11	+0
経常利益	96	137	143	+6
当期純利益	60	95	95	+0

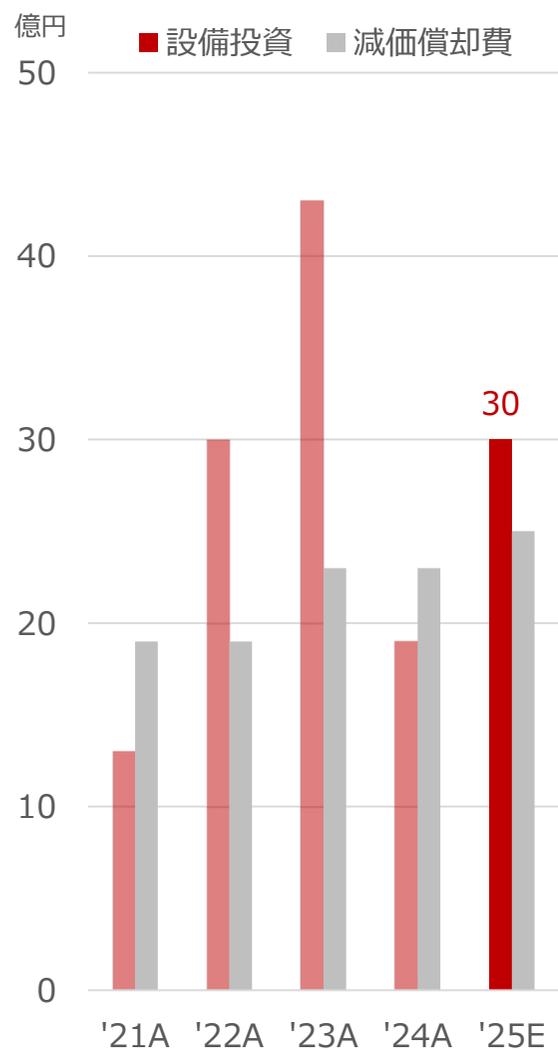
前期比コメント

- ✓ 高水準な受注残高もあり、売上、利益とも過去最高を更新する見通し。
- ✓ 消防車輛事業は、Brontoは前期の復調を経て、堅調に推移する見通し。国内が増収で、複数年度予算での発注が続き、今期も次年度への繰り越しを想定。
- ✓ 防災事業は、前期の消火設備の大型案件の反動減があるものの、過去2番目の高水準を維持する見通し。
- ✓ 産業機械事業と環境車輛事業は、いずれも過去最高の受注残高もあり堅調に推移する見通し。

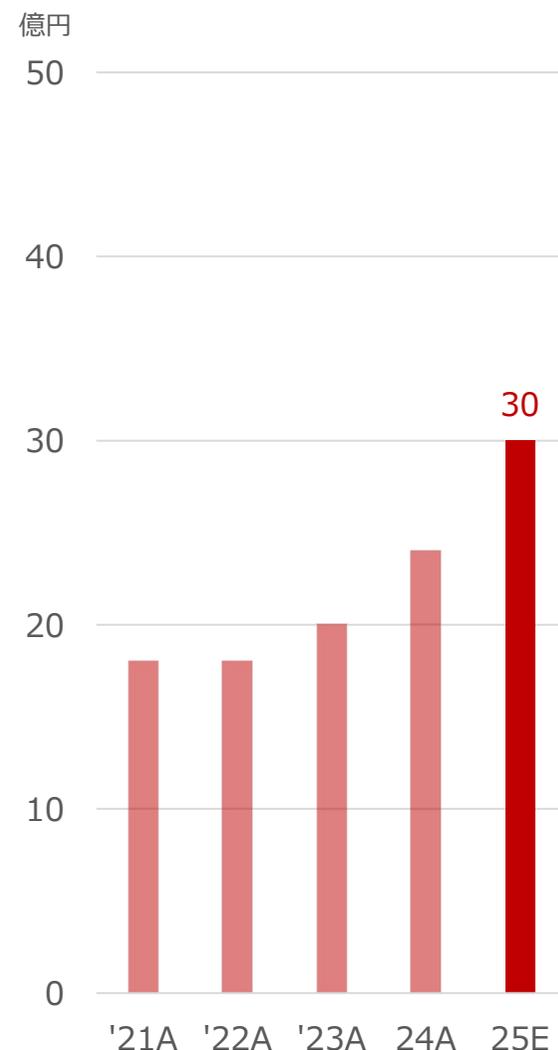
設備投資・研究開発費・配当金



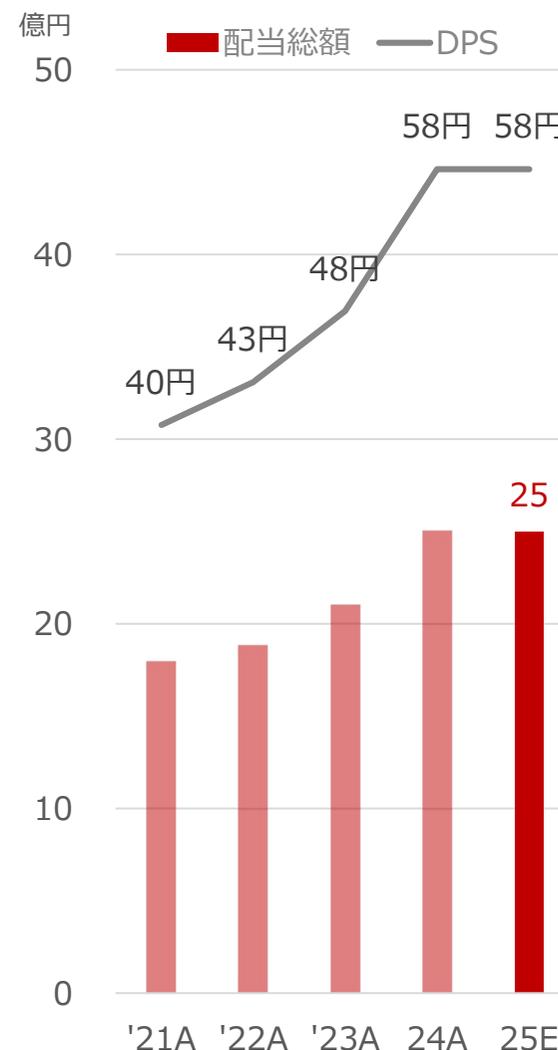
設備投資



研究開発費



配当総額/DPS



Appendix

業績推移



(億円)

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
売上高	617	597	637	671	717	719	686	851	855	915	869	847	836	813	952	1,117
消防車輛	319	316	314	335	359	383	328	520	498	546	510	518	491	449	544	664
防災	143	135	163	165	174	184	199	182	213	216	198	180	194	208	238	266
産業機械	34	33	43	54	60	55	60	44	41	47	54	40	52	59	62	64
環境車輛	84	80	83	90	97	97	99	105	103	106	108	109	99	98	109	123
自転車	37	33	33	28	26											
営業利益	42	43	51	63	67	82	75	96	85	95	89	89	81	51	95	137
消防車輛	39	37	33	39	44	57	42	72	55	63	57	66	55	18	47	68
防災	3	6	12	15	14	15	18	12	21	21	17	10	13	20	33	50
産業機械	-2	-2	1	2	3	2	4	0	2	4	5	3	6	7	7	9
環境車輛	3	2	3	6	7	8	11	12	6	8	9	9	7	6	7	10
自転車	-1	-1	2	0	-1											
経常利益	45	46	53	64	70	84	81	101	90	101	93	95	88	59	96	137
当期純利益	20	22	28	29	35	47	45	60	57	64	70	62	54	40	60	95

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
受注高	498	421	495	493	554	576	546	716	718	783	738	737	755	849	874	1,056
消防車輛	349	262	296	306	344	351	303	489	471	517	494	506	481	575	577	712
防災	38	41	54	50	55	65	88	67	101	100	91	79	89	97	116	132
産業機械	27	37	58	45	56	54	52	47	46	52	45	47	69	62	59	70
環境車輛	85	81	87	93	99	106	103	114	100	114	108	105	115	115	122	143
受注残高	121	88	115	94	97	87	194	198	221	228	221	237	295	477	570	677
消防車輛	81	43	50	37	43	23	125	117	118	116	116	124	140	291	359	442
防災	10	11	10	9	9	11	20	19	39	36	37	42	49	60	74	72
産業機械	19	23	38	29	25	24	16	20	24	29	21	28	45	48	46	52
環境車輛	11	11	16	19	20	29	33	42	39	47	48	44	60	78	91	111

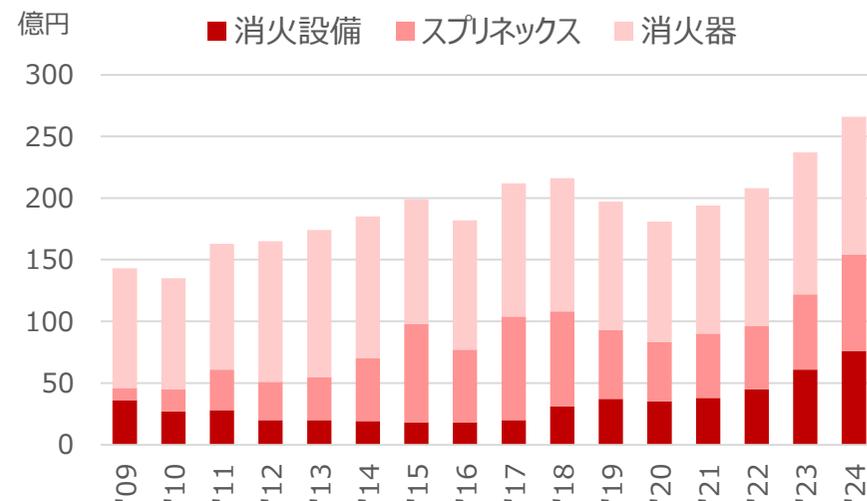
セグメント別 売上構成



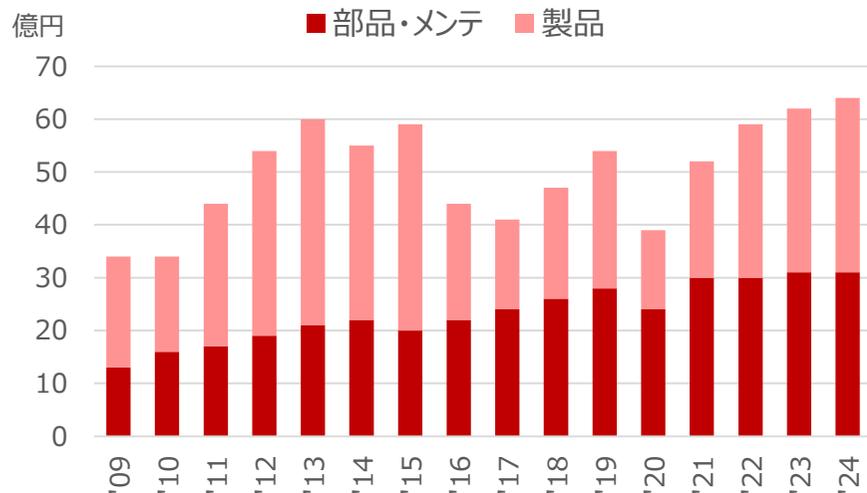
消防車両



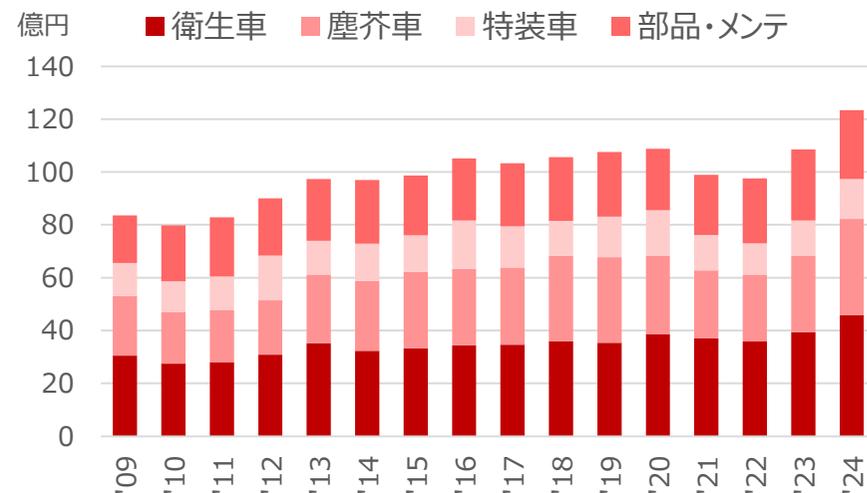
防災



産業機械



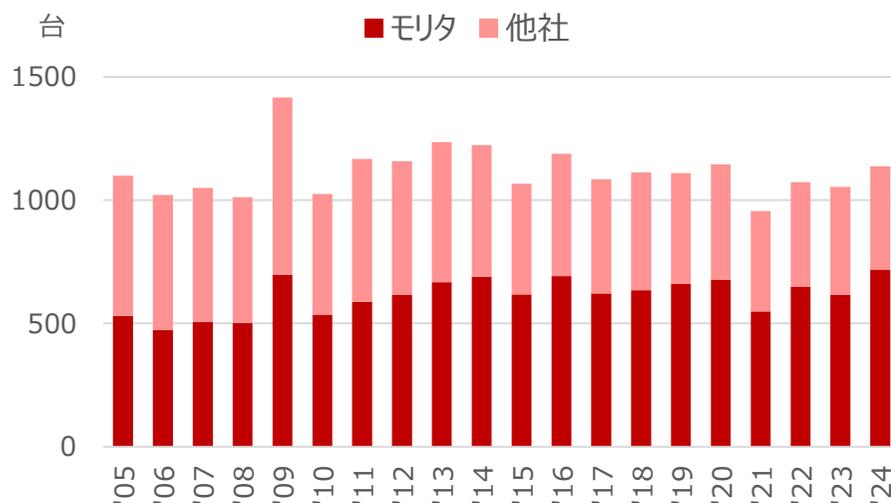
環境車両



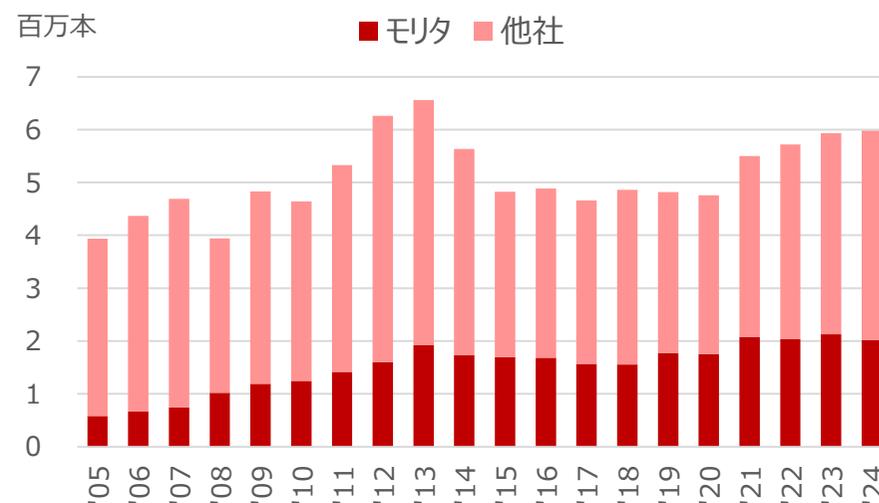
需要数量



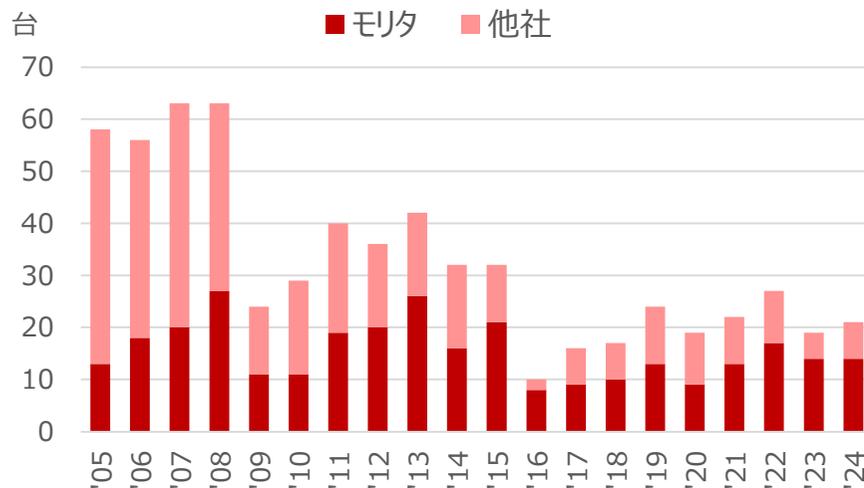
消防車



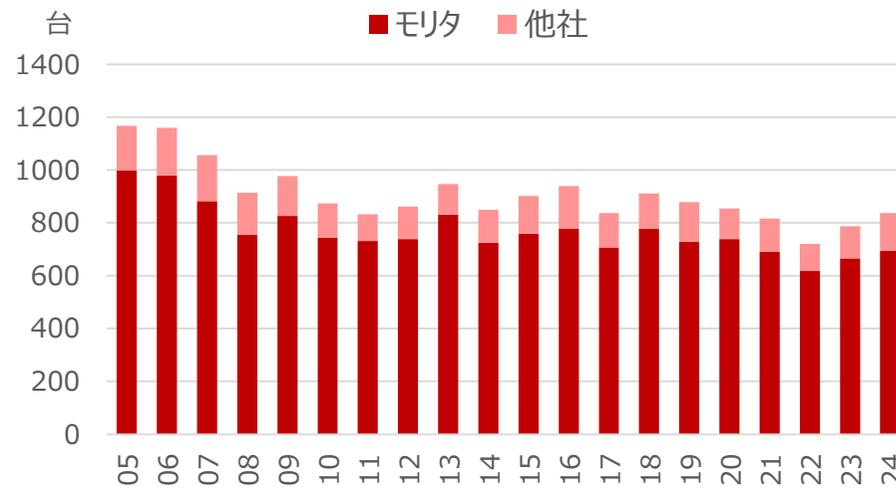
消火器



切断機



衛生車



※ 自社調べ

Bronto Skylift 概要



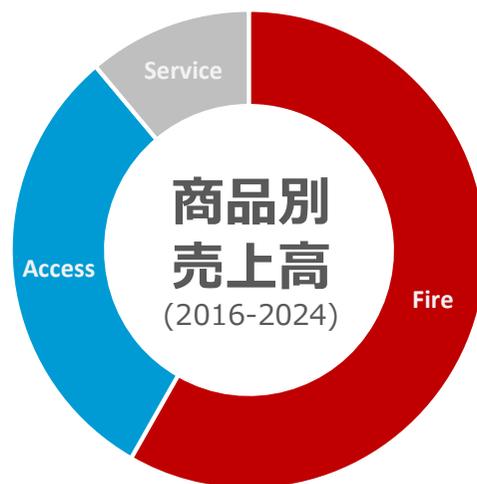
Fire & Rescue



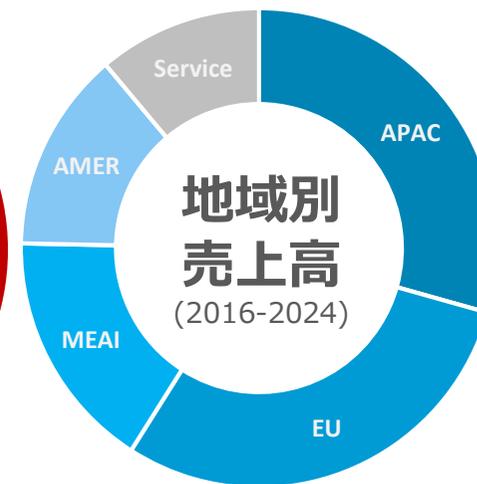
- 社 名 Bronto Skylift Oy Ab
- 所 在 地 Teerivuorenkatu 28, FI-33300 Tampere, Finland
- 設 立 1972年
- 従 業 員 数 430名 (2024年12月31日現在)
- 子 会 社 Bronto Skylift Aktiebolag (スウェーデン)
Bronto Skylift AG (スイス)
Bronto Skylift Deutschland GmbH (ドイツ)
Bronto Skylift, Inc. (アメリカ)
- 事 業 内 容 屈折はしご付消防車および高所作業車の開発・製造・販売



Access



Fire 屈折はしご付消防車
Access 高所作業車
Service サービス



APAC アジア太平洋
EU 欧州
MEAI 中東・アフリカ・インド
AMER 米州
Service サービス



Disclaimer

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測、主要市場の経済環境及び製品需給の変動等に関する記述は、入手された情報に基づき判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

なお、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。